

K

yoto

P

olicy

I

nstitute

2012
No. **2**
6・7月号

発効日 2012年7月1日

京都政策研究センター

京都府職員研修・研究支援センター1F

〒606-0823 京都市左京区下鴨半木町1-10

TEL&FAX : 075-703-5319 E-mail : kpinfo@kpu.ac.jp

*セミナーのご案内やニュースレターなどをメールマガジンで配信
しています。ご希望の方は、上記メールアドレスまでご連絡ください。

事業報告 第1回連続自治体特別企画セミナー

平成24年5月17日(木)、佐賀県武雄市長樋渡啓祐氏をお招きし、『facebook
でつながる自治体と市民のいいね!の輪~武雄市長物語~』を開催いたしました。講
演では、「共感」を大切にすること、「逆風も身体の向きを変えれば順風になる」など
といった市長が大切にしている点や考え方をはじめ、今後の展望や最近話題となっている
TSUTAYAと図書館の提携の話など、時にはジョークを交えてお話して頂きました。
また、途中にはfacebookの仕掛け人である杉山隆志氏にミニ講義をいただきました。
質疑応答では多くの方から質問が寄せられ、時間が足りないほど。180名もの
方にご参加いただき、笑顔が絶えない2時間でした。



【参加者の声】

- とても「楽しい」セミナーでした。
- 今の閉塞社会の中で、元気の出る話が出来て良かった。前向きなチャレンジが必要という点に同感です。
- 「情報」ではなく、「共感」を発信することは、今後のまちづくりの考えで重要だと思った。
- まちづくり、行政についてだけでなく、これからの生き方も考えさせられました。今日は来てよかったです。
- 大変参考になりました。固まっていた組織が生き生きと動き出していく様子が想像できて、とても羨ましく思いました。
- 市職員として、課題と感じているみんなの共有の場づくりのヒントを頂けました。
- 市長さんの人柄に触れられてよかった。
- 失敗もすべて経験となっていくという言葉はすごく共感できました。何事も楽しむことが大切である—その通りだと思います。
- 市職員として、課題と感じているみんなの共有の場づくりのヒントを頂けました。
- 非常に身になる講演でした。地方自治体職員として今日の講演でのヒントを活かしながら、日常業務に当たりたいと思いました。

など、たくさんのお言葉を頂きました。
たくさんのご参加ありがとうございました。



連続自治体特別企画セミナーのお知らせ

*公共交通機関をご利用ください。

*詳しくは、[京都政策研究センターHP](#)（京都府立大学HP内）
をご覧ください。

◆第2回 7月26日（木）午後3時～5時 場所：京都府職員研修・研究支援センター2F視聴覚室 『コウノトリが舞うまちづくり～兵庫県豊岡市の挑戦～』

「コウノトリと共に生きる豊岡のまちづくり」 報告者 上田 篤 氏

（豊岡市 政策調整部 地域戦略推進課長）

「コウノトリの地域資源化と順応的ガバナンス」 講師 菊地 直樹氏

（兵庫県コウノトリの郷公園 研究員 兼 兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 講師）

昔から「幸せを運ぶ鳥」と呼ばれてきたコウノトリ。そして、兵庫県豊岡市は「最後の野生コウノトリの生息地」と言われてきました。しかし、人間による生態系の破壊から、ついにこのまちからもコウノトリは姿を消してしまいました。1971年。まちから「幸せ」が消えた瞬間でした。それから30数年、豊岡では、「コウノトリとの約束」を合言葉に人工飼育から再出発し、コウノトリと人が共に生きられる「共生型社会」のまちづくりが進められました。そして、2005年。ついに念願の「試験放鳥」に成功し、今ではその「コウノトリ育む農法」が、まちづくり、観光、エコツーリズムなど様々な分野で国内外から注目されるに至っています。また、2012年4月からは、よりよい環境づくりと地域経済の活性化が共鳴する環境都市・「豊岡エコバレー」という構想も進められています。

今回のセミナーでは、コウノトリがつながるまちづくりの広がりについて、コウノトリに長年関わってこられたおふたりをお迎えし、大学（研究）と行政（現場）それぞれのお立場からお話を伺います。

◆第3回 9月27日（木）午後3時～5時

『日本一小さな町のシンクタンクが地域の未来を拓く』

「地域にこだわり地域から発想するまちづくり」講師 岡崎 昌之氏（法政大学現代福祉学部教授）

「地域の可能性を引き出す中間支援組織・上流研の取り組み」報告者 鞍打 大輔氏

（NPO 法人日本上流文化圏研究所 主任研究員）

平成24年度 京都府との「協働研究」が決定しました

当センターでは毎年京都府との協働研究を実施しています。この協働研究は、京都府の重要政策課題を対象に、複数テーマについての「ワーキング・グループ」を京都府等行政関係者と共に設置し、各施策現場での実態調査、分析・評価、政策提言などを実施するとともに、地域の課題解決に貢献するために、専門的支援を行うものです。今年度は、以下の4テーマについて研究を実施します。

- ①「地球環境問題研究委託事業」（協働研究先：文化環境部 地球温暖化対策課）
- ②「勤労者福祉会館の有効活用のための調査研究」（協働研究先：商工労働観光部 労政課）
- ③「京都府における低所得者支援施策の効果的実施に向けた研究」（協働研究先：健康福祉部 福祉・援護課）
- ④「地域力再生交付金の効果に関する検証調査」（協働研究先：府民生活部 府民力推進課）



30年間の地方公務員生活を経て、京都府立大学の派遣教員1年生となりました藤沢実と申します。よろしくお願いたします。オンの時には府大と京都府をつなぐ役目、オフの時には、ライフワークとなっている京都ぶらりて、寺社仏閣やお祭りなどにお邪魔しては、その写真をamebloやFacebookで発信しています。もう京都の町は、どこからともなくコンチキチンのお囃子が流れ、祇園祭の色彩が日増しに濃くなり、京都人のテンションも上昇中です。このハイテンションでKPIの運営に当たりつつ、暑い夏を乗り切っていきたいと考えています。

KPIリレーコラム